

⑧ 伊佐市の男女共同参画施策について

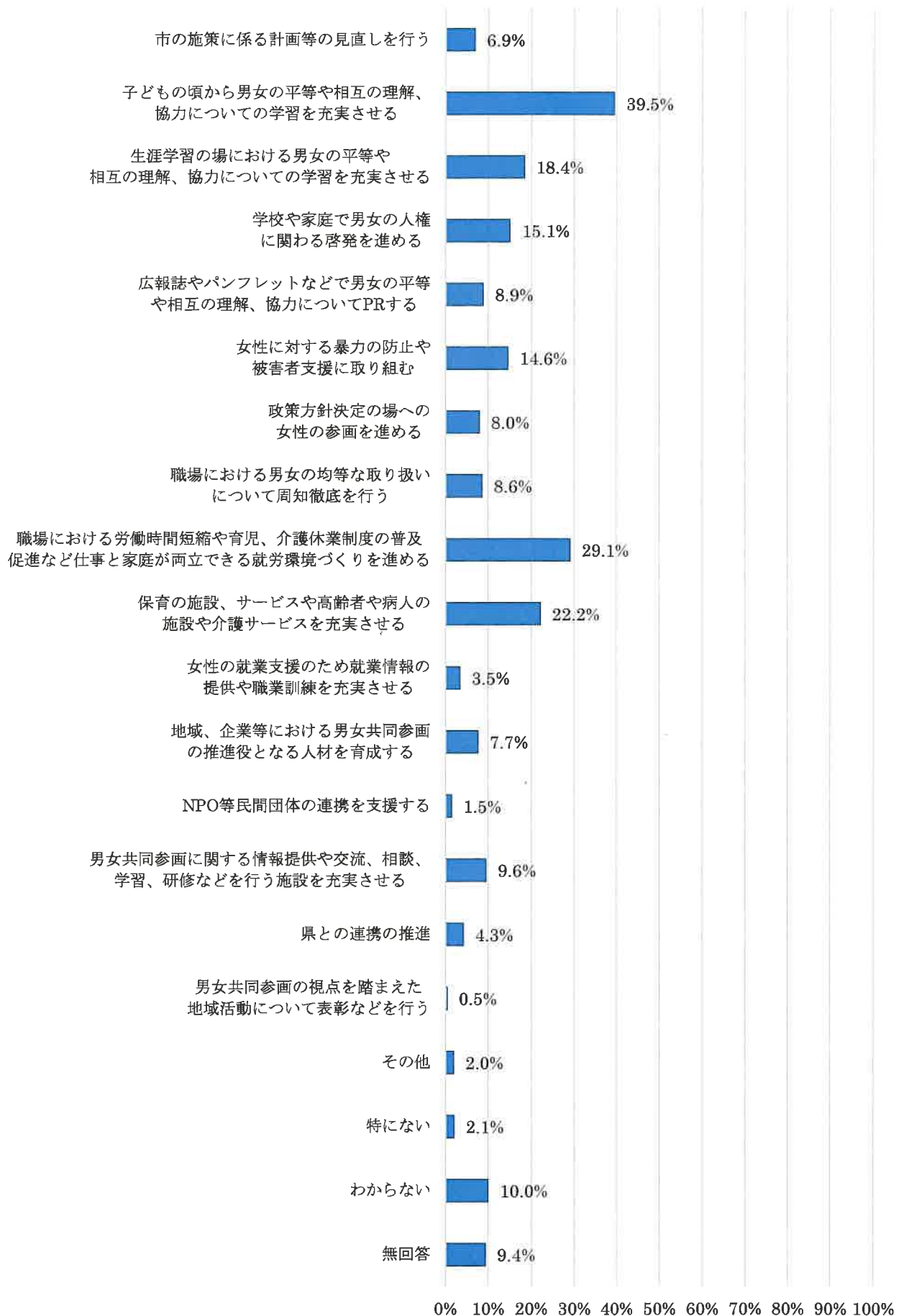
問 27 あなたは、「男女共同参画社会」を形成していくために、伊佐市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（3つ以内で選択）

「男女共同参画社会」の形成のために力を入れていくべきことについて、「子どもの頃から男女の平等や相互の理解、協力についての学習を充実させる」（39.5%）と答えた割合が最も高く、次いで「職場における労働時間短縮や育児、介護休業制度の普及促進など仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」（29.1%）、「保育の施設、サービスや高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」（22.2%）の順となっている。

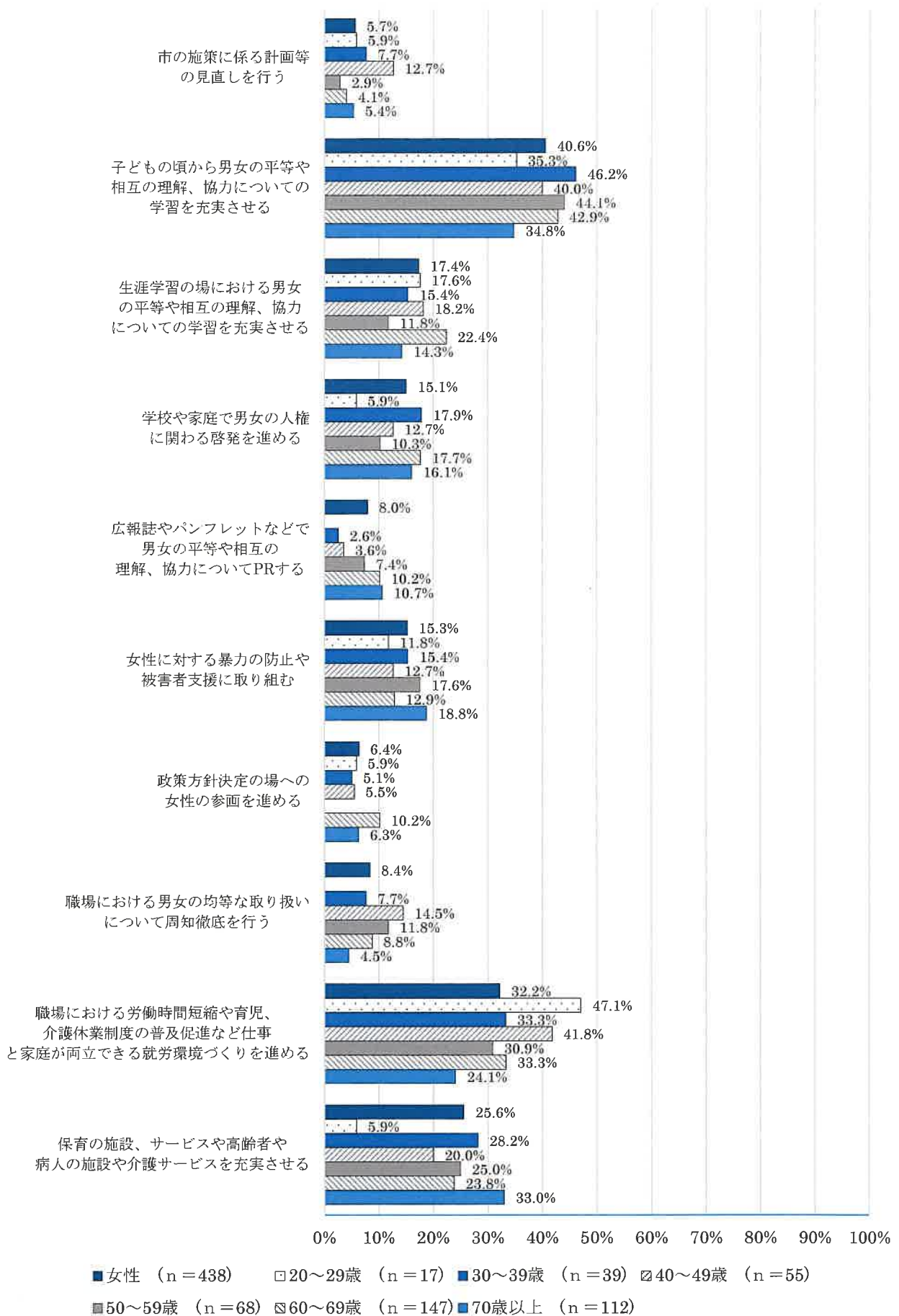
性別でみると、「職場における労働時間短縮や育児、介護休業制度の普及促進など仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」、「保育の施設、サービスや高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」と答えた割合は、男性より女性の方が、それぞれ6.6ポイント、7.3ポイント高くなっている。

性別、年代別でみると、20歳代及び40歳代の女性では、「職場における労働時間短縮や育児、介護休業制度の普及促進など仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」と答えた割合が他の年代より高くなっており、30歳代の男性では、「女性に対する暴力の防止や被害者支援に取り組む」と答えた割合が他の年代より高くなっている。

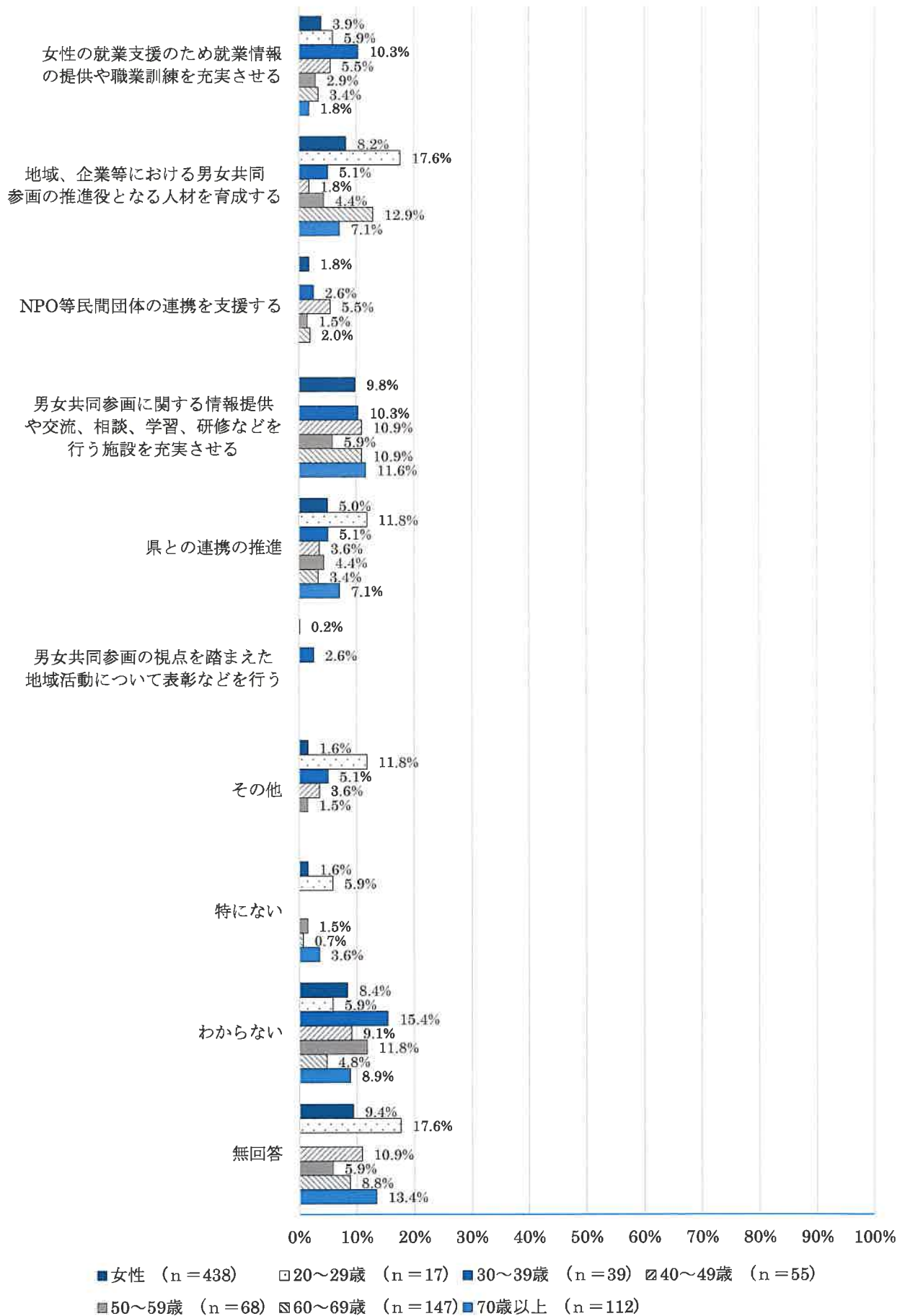
男女共同参画社会の形成のために力を入れるべきこと 【総計 (n=810)】



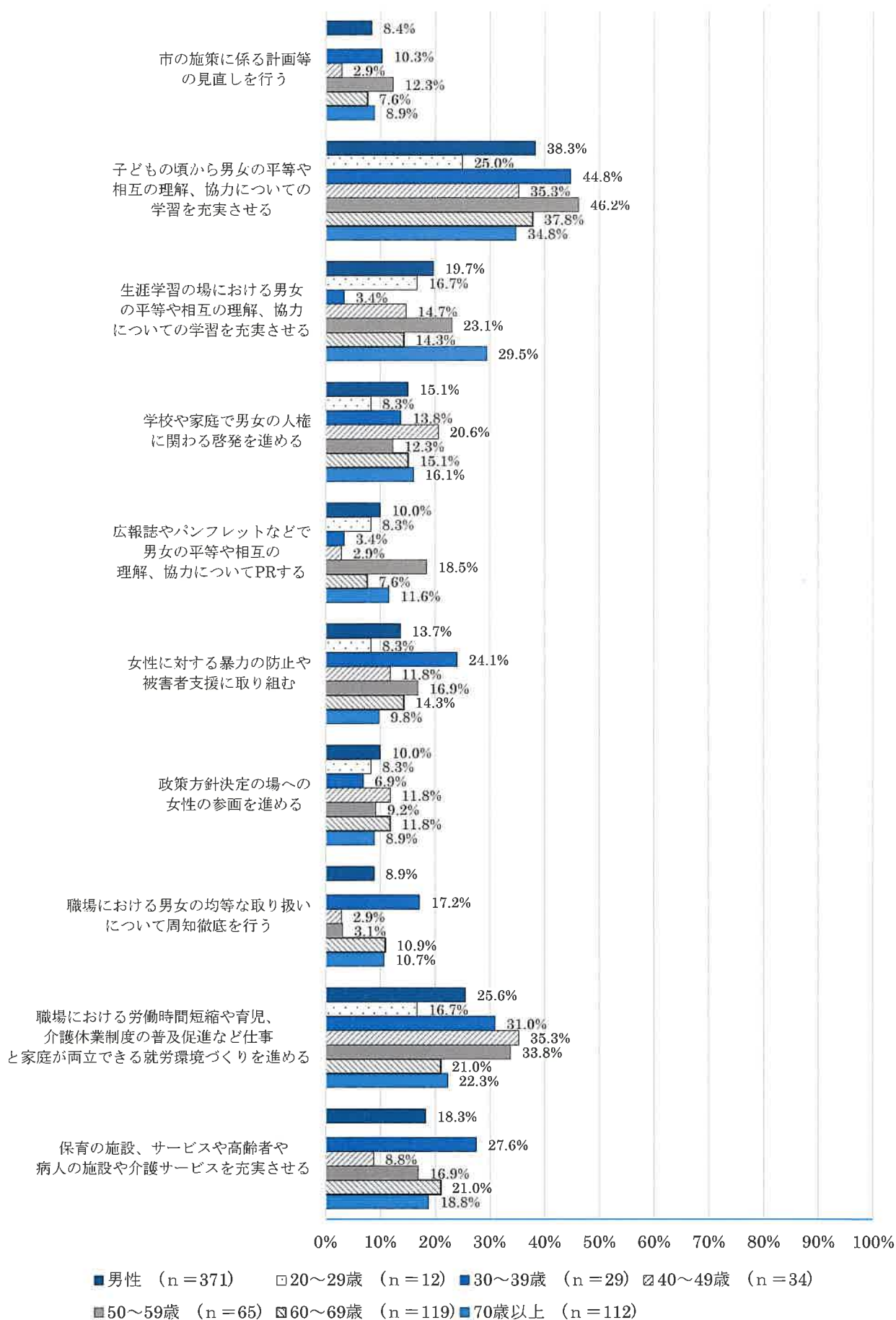
男女共同参画社会の形成のために力を入れるべきこと 【女性、年代別】 ①



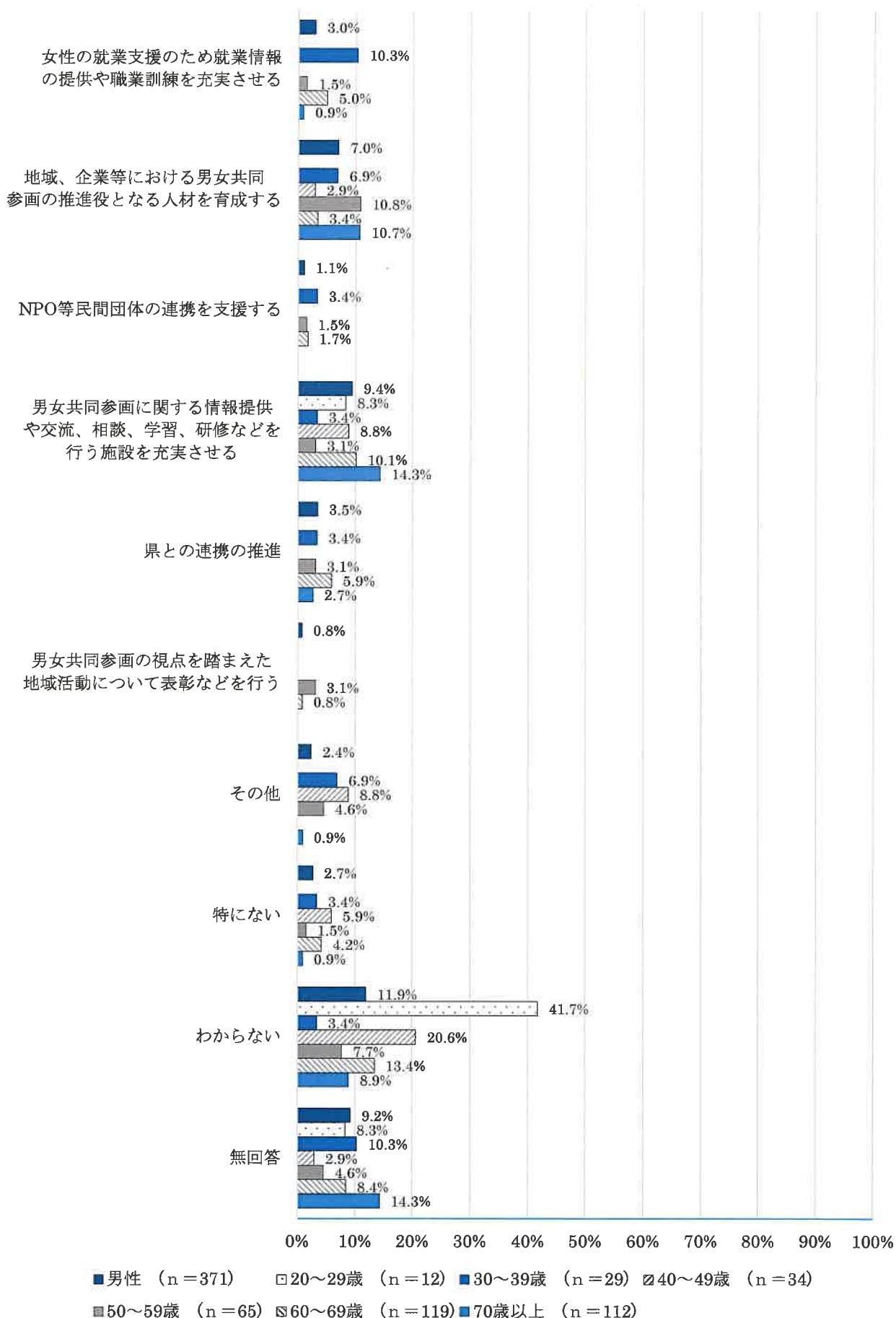
男女共同参画社会の形成のために力を入れるべきこと 【女性、年代別】 ②



男女共同参画社会の形成のために力を入れるべきこと 【男性、年代別】 ①



男女共同参画社会の形成のために力を入れるべきこと 【男性、年代別】 ②



《その他の回答》

- 仕事上でも男女というよりは、個々の人たちが、自分の意見や考えを言いやすい風通しのよい組織になることが大事。
- 男女という言葉を使用しない宣言を行い、その趣旨を社会にしっかりと伝える。
- 働き方改革。(仕事内容の見直し)
- 男女均等の意見を女性のみ発言させる。男性意見は不要。
- 「男女」とかの言葉表現しない。区別したタイトルは付けない。具体的な取組をタイトルにすべき。
- 保育や介護に対して、経済的な支援。
- 人口を増やす。移住者を増やす。
- 子育てに専念しても社会と孤立しない仕組みを作る。
- 伊佐市は、何に対しても、取組が、遅すぎる!!もっと、子どものいる、家庭の事を考えてほしい。
- 男女平等も大切だが、それを行うことでLGBTの方々がより過ごしにくくなるのでは?と思う。男女ではなく、市民全体としての共同参画社会を、目指すべきだと思う。
- 保育の施設、サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させるために、就業者の学習、研修など又、スタッフの確保に努める事に力を入れる。安心、安全なサービスを受けたい。
- 社員に個人宅の、掃除洗濯等させている話を聞く事がある。相談できる所を増やす。
- 会社、行政機関では、平等公正な評価を行うこと。その結果については、受け入れること。不平不満は共同参画社会を歪める。
- 今の市長では、どうしても、変わらない。守りに入りすぎている。
- アンケートで何が進むのかが、よくわかりません。市政を行っている方を信頼しております。そちらで、最良の判断をしていただければ、それで結構です。
- 性善説(道徳教育の強化)

問 28 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

寄せられた自由意見の件数は、84件であり、主な意見、要望を掲載した。

内容は、「男女共同参画に対する意識について」（9件）、「男女共同参画社会の形成について」（14件）、「就業について」（1件）、「男女共同参画に関する教育について」（9件）、「男女共同参画に向けた啓発活動について」（1件）、「男女共同参画に向けた行政の取組について」（7件）、「家庭生活について」（5件）、「その他」（38件）となっている。なお、意見等は原文のまま掲載した。

《男女共同参画に対する意識について》（9件）

- 男女共同参画社会の実現とか小難しいことを考えるより、普通にお互いを尊重して生活していけば良い事では？（女性、60～69歳）
- 男女共同参画社会…女性は、出産、育児、協力がなければ、介護…結局は、女性が何かしら平等ではない様な気がします。周りの理解、協力、等なければ、“男女のなんとか…”とか、“女性差別”とかの言葉すら、なくならないような気がします。昔ながらの、三歩さがって歩くという考えで教育を受けた子、その教えで、育った子…というふうに、なかなか、消えないと感じました。小さい頃、子供の頃からの教育が大事な気がします。（育つ環境にも、よるのかな…。）このアンケートなぜ、私が選ばれたのか…??（女性、30～39歳）
- 男性が決めたルールや協議会では何も進まない。女性のみで法令、条令を決める事が、男性の習慣を無視出来る。年齢の差でも考え方が大きくちがう。例えば50以上は男性社会で育った。50以下でのみこの活動を進めて、古い習慣的行動を無視させたい。（男性、50～59歳）
- 女性自身が社会に強く関わっていくという意識をもつこと。（男性、50～59歳）
- すぐに実現は出来ない。何世代に渡って、考え方、認識を、変えていかないと、とうてい無理ではないか。（男性、40～49歳）
- 女性自身が、自分としてのしっかりした意見自分の生き方を考えるべきである。まわりに求める事は、その後である。（女性、70歳以上）
- 女性(主婦)が、職に就いたり社会へ出る為には、家族間(夫の両親)の理解が必要です。（女性、60～69歳）

- 体力では男性が優位のため、家庭、地域、職場、社会のすべてにおいて、男女共同参画は難しいと思われる。職場においては、仕事によって体力仕事ではないにもかかわらず、女性だからできないとかの発言もあったり、上司が最初から女性を外して男性のみに業務を命じたりなど。女性が男性なみに超過勤務を行うと上司の心配が大きく、男性だと当たり前。子育てについては本来夫婦の問題であると考え。育児サービスについて民間が整備を進めてくれればよいが、行政の場合は財源が乏しく困難。(男性、50～59歳)
- 職場において、「女だから」という言葉を何度となく耳にします。確かに、女には、できないこともたくさんありますが、男にも、できないことがあったりします。なぜ、協力して、うまくやっていけないのかと、思うことがあります。前に出ようとするれば、女だからやめとけというような事を言われます。今の職場に、10年以上いますが、以前、新人として入られた方が1ヶ月程して、辞めていきました。理由が「女の人に指導されたり指示されたりするのは、嫌だった」との事、そういった考えの方は、この町にたくさんいます。根本的な、考え方を、変えていかなければ、「男女共同参画」は、実現しないのではないのでしょうか。(女性、50～59歳)

《男女共同参画社会の形成について》(14件)

- 伊佐市は一部を除いて進んでいる。民協など女性が活躍している。議員がだらしない。定数減して超高齢化の進んでいる中民協の予算化増を望む。多くの市民の声(議員にも伝えて)(男性、70歳以上)
- 伊佐市では、男女ともに安心して暮らせる地域づくりや職場づくりを目指して「誰もが安心して生活出来るまち」「共生、協働、自立の伊佐市」を造る為、生きがいの有るまちを市民挙げて全力で支え合って参りたいと思います。(男性、30～39歳)
- 男女、同一の立場ですので、サークルでも会合でも、交替でリーダーをしてみてもどうでしょうか。(男性、60～69歳)
- 都市部と地方でも、男女の性差に関する考えが違うと思います。国の施策として取り組む制度ではありますが、通り一辺倒な政策ではなく、伊佐独特の男女問題を知った上で、地域に見合った「共同参画社会」になるように、策定して下さい。(女性、40～49歳)
- 地域の役員に女性を、選出していく。(男性、60～69歳)

- 男女共同参画の言葉は聞いた事は、ありますが、ほぼ興味がありませんでした。
なので情報も頭に入っていません。しかし、今回のアンケートで少し理解がなんとなくという感じです。女性は、妊娠、出産、育児等充実する支援が要です。私も、働きながら土、日、祭日の仕事もあり子供を預ける事が悩みでした。少子化という中、男女共同参画は大事な事だと思います。(女性、60～69歳)
- 家族の暮らしの形態が変化する中で、意識の変化も求められていると思います。
良いことは残し、考えていかなければならないことは、自分のこととして地域社会が取り組むことだと思います。少子化ストップもこのことでつながっていければ嬉しいです。伊佐は、古き良き伝統と、これからの未来のためにもこの男女参画社会の実現は大切であると感じます。(女性、50～59歳)
- 毎日、お疲れ様です。伊佐市が、男女共同参画社会の実現に向けて、住み良い街になり、生活が出来るよう、望んでおります。(女性、60～69歳)
- 平成、令和に育つ子供達は、どんな大人になって社会の為に働いてくれるのか、昭和で子育て終了した我々年代で、それを見届ける事はむずかしです。最近のニュースは、思いもよらぬ40代の大人が犯罪を犯しています。環境と親が一番大事だと思います。問27の項目すべてがうまく力を注いでいけたら、伊佐の子供達健全な子供に育てたいと思います。(女性、60～69歳)
- 共同参画といいます、体の部分でも、男性と女性は、違います。仕事における特性などでも、女性と男性は、発揮できるものが違うので、互いの違いのバランスを互いに補えるような、社会になることが理想です。他の人ではなく、自分自身にベクトルを向けて、自分を大切にしていけることができれば、差別も無くなっていくと思います!ですが、「権利」「チャンス」は、男女平等であるべきだと思います。(男性、20～29歳)
- 男性と女性の大きな違いは、子供を産めるか、という性差があると思います。産む、産まない、産めないの違いもあります。全ての人が、自分の思い、性を認めること、相手から尊重してもらえる社会。何から手をつけていいのか、判りませんが、自分の子供達の生きる未来が、生きやすい世の中だといいなあと感じます。
(女性、40～49歳)
- 男女共同参画社会の実現と、取り組んでいかなければならない程……大変な状況にある人(女性)がいらっしやる社会であることに驚きます。深刻な問題なのでね。良い方向に、向いますように願います。(女性、60～69歳)

- 男女という言葉を用いていることが、そもそもの問題なのでは。全てが平等になることは不可能である。男女という言葉を用いず、子育て支援などの問題に対する対策を考え、その中で男性と女性における問題に関する対策や優遇措置などを考える必要があるのではと考える。具体的には産休や育児休暇というものをこれまでの女性の体制に男性の体制を制度的に作っていくのではなく、全てをリセットし一人の人間が職くなかで、子供を授かり育てるまで必要な問題は何か？を明確にし、それを男性、女性であることで必要な優遇制度、男女共に必要な優遇制度を考える等の必要があると考えます。独身者の負担のみが大きくなる制度の見直しも考える必要もあるのでは？（男性、40～49歳）
- 男女、すべての人権の平等な取り組みを切に願います。（女性、30～39歳）

《就業について》（1件）

- 子育てがしやすい様に、賃金を上げるべきだ。すると、休日も取れて、地域社会にも貢献できると思う。（男性、60～69歳）

《男女共同参画に関する教育について》（9件）

- これからはジェンダーレスの時代になる、男、女また障害あるなし人種に関係なく、個人の能力が重視されていくと思うのでそういう人たちが充分活躍でき、成功するような伊佐市であってほしい。安心して生活するためには経済力があるか、ないかが重要である、そのためには教育が必須。学力を上げる、学歴を得るための教育、差別をしないこと教える教育にもっと力を入れてほしい。少数だが子どもや学生や20代、30代の人たちにもっと目を向けてほしい、と思います。（女性、40～49歳）
- 力（体力）の弱さはどうしても感じる。個人としては、性別とか関係ないと思う。一人ひとりの品格、人格をupする研修、教育環境がないと、人（他者）を傷つける。個性を殺さず、個人を認める（受け入れる）研修・教育環境があると、大人になっても人は変わる！人間力を上げれば、「男女」やら言ってるより、相手を「名前」で呼ぶだろう。＜個人を認める・受け入れる姿だと思う。＞（女性、30～39歳）
- 個人の意識を高める為、・子供の頃から、家庭、学校、職場、行政等地域社会全体で、声をかけることが一番大事なことだと思います。（男性、70歳以上）

- 私は、鹿児島県外出身で、配偶者の実家へ37年程前にUターンした者です。薩摩の気質というか、男性は常に上に立ち、女性の意見など、聞く耳持たないという家庭環境で現在に至っています。さつまの汚い言葉で、ののしられたりして言葉のDVに我慢しています。今の子供達は違うのかと思いますが、50才代、60才代、70才代のさつまの男を再教育できればいいのにと 생각합니다。この地に骨をうずめるのはイヤだナーと思いつつ日々暮らしています。(女性、60～69歳)
- 民間の中小企業においては、公務員みたいに人権問題の研修が行なわれていない状況にある。公務員においても、パワハラ・セクハラはあると思われるが、テレビ・ラジオ等のメディアで取り上げられるように企業でも多くのパワハラがあるのではないか。企業内研修が必要ではないでしょうか。(男性、60～69歳)
- 子どもの時の教育で、よいこと、悪いことの判断がある程度形成されていると思う。年齢を重ねた方は、なかなかその基準を変えにくいのではないか。人を思いやる心を持っていれば、他人の選んだ道を応援できる人になれると思う。(男性、40～49歳)
- 人権と自由について、家や学校でもっと教育するべき。小さい頃からの教えなどにより、今の大人には、理解出来ない事がある為、今さら直せないと思う。鹿児島には、「ダレヤメ」とかの言葉が今でも、使われているが、母ちゃんが「ダレヤメ」をしてるって言う子供がいますか？父ちゃんだけでしょ！もうそこから、まちがってる、理解されてますか？みなさん使っているでしょ！！こんなアンケートを今頃取っている、市政もダメだ！！昭和の話ではないのか？令和ですよ、今は！（男性、50～59歳）
- 伊佐市にUターンして、早や7年になりました。まだまだ男尊女卑の傾向が強いと感じています。意識改革には時間を要すると思いますが、長期展望を見据えて、学校教育を充実させてほしいと思います。家庭での教育も大事だと思いますが、それには、まず親の意識を変える様な学習の場をもうけて、そして経済的にも自立し、発言、存在感を認めさせることが必要なのではと思っています。市政においても女性議員が少なく、女性の視点で改革が必要と思える事柄も議案にすら、取りあげてもらえないのではと、市政にうとい私は勝手に思っているこの頃です。
(女性、70歳以上)
- 男女共同参画社会が実現されるなら、本当に良い事だと思います。まだ、私の回りには、差別…されているのでは無いか？と思ひ回りに気を使いながら生活して

いる方もいる。色々な分野で対等であることが出来るなら、この世の中お互いに助け合い、差別という言葉が無くなる様小さい時より、教えるべきだと思う。男女共同参画という言葉を広めてほしい。(女性、60～69歳)

《男女共同参画に向けた啓発活動について》(1件)

- 男女共同参画社会の字ズラからして固い。伊佐キングがいるなら伊佐クイーンがいても良い。マスコット。ユルキャラ。子を抱くマリア。繋がれた手と手。〈何とか表現をやわらかくして〉同和問題に比べれば市民へのアプローチは容易なはずです。誠意をもって、アンケートにお答えしました。宜しく御活用下さい。(男性、60～69歳)

《男女共同参画に向けた行政の取組について》(7件)

- 「男女共同参画社会」という言葉は耳にしますが、実際はきちんと理解していません、できましたら公的な機関でわかりやすく、教えていただける場を設けて下さるといいのではと思います。その場集った人達から、問題点等を出してもらおうと良いと思いますが…。(女性、60～69歳)
- 伊佐市役所やふれあいセンターなど、まずは公共の施設から男性用トイレにも子どもや赤ちゃんを連れて入れるトイレになるように改善してもらいたいです。まだ女性のトイレにしか、おむつ交換台がない気がします。公の施設などから意識が変われば、段々普通の事として民間のスーパーやレストランなども変わって来ると思っています。男女ともに子育てする事を普通の事として考えられる伊佐市になってもらいたいです。母親学級はあるが、父親学級がない、せめて両親学級も設けてほしい。(女性、30～39歳)
- Ⅶ伊佐市の男女共同参画施策について、問27の2、3、4、5、6、7、8、9、10、12に力を入れてくださったらと思います。(女性、60～69歳)
- 箱モノの施設作りより、個々に届く形での啓発が先だと思う。広報誌やパンフレットを、使ったPRから始めてみては？(女性、50～59歳)
- 男女共同参画社会と言われているが、現在の法律、職場での改善がなされていないのに、実現されるわけがない。女性が働きやすい環境かどうか伊佐市で考えると、ただ言葉だけの様な気もする。条例など作るときの作成していく会の男女の比率も男性が多くては女性の意見は反映されないし、男性の考えが条例の中に

多く反映されると思う。議員の割合をみても同じことがいえると思う。(まあ、議員の割合は仕方がないが…)伊佐市役所の中にもだいぶ女性管理職が増えてきたが、まだまだだと思う。(ということは、市役所の中も女性が働きにくいとってしてしまう。)今後、いろいろな政策や市策を考えていくときは男女の比率も考えて編成してされなければ変わっていかない、上辺だけのものになってしまうと思う。このアンケートも世帯主名で行われているのもいかなものかと思う。(女性、40～49歳)

- 法律による実効性のある対応が必要。(例)議員数を男女同数にする。(男性、60～69歳)
- 女性は働きたくて(やりたい仕事だから)働く。保育や介護など、経済的に余裕がないから働く。女性は妊娠などで、働けない期間が必ずある。子どもを産んだら支援金が支払われる仕組みがあれば、若者は伊佐で結婚し、(帰郷)子どもを産む。人口が増えて、入ってくる税金も増えるのでは?女性が働きやすく、子供が生きやすい環境がほしいです。(女性、20～29歳)

《家庭生活について》(5件)

- 男性が優位な職場、地域環境であるように感じる。女性が仕事と家庭の事を両立できるように、色々な社会の手助けも欲しい。家庭では男性も家事、子育てにもっと協力すべきと思う。(女性、50～59歳)
- 男女共同参画社会が100%機能する前に家庭に於ける、男女の役割と機能をいかにきちんとするかが問われている現実の社会があるのではないのでしょうか。子供達は両親を見て育って行くのです。今の社会問題の根源は家庭の崩壊に他なりません。50歳になっても親の年金に頼っている人の多さは何に起因しているのか、その問題解決が急務と感じているのは私だけでしょうか!!(男性、70歳以上)
- 今だに、共働き世帯であっても、家事は女性が負担する割合が多いので、なるべく男性と女性が共に家事を負担できるように、した方がよいと思う。そのためには、子供の時から、男性も女性も共に家事を分担するという意識を持つように教育した方がよいと思う。(女性、30～39歳)
- 若い主婦は、男女平等を勘違いしている。夫を仕事で働いて家で休ませない、男女平等だからと言って家事もさせる。(給料は全然違うのに)親世代から見ると腹立たしい。(男性、60～69歳)

- 我が家では、旦那も私も働いていたので、お互いに家庭の仕事を助け合いました。特に問題はありません。ただ、地域の人で男女の問題があつて、話を聞くことがあります。お互いに、ゆっくり話し合えればいいなあと思っています。(女性、60～69歳)

《その他》(38件)～うち主な意見等(21件)を掲載～

- 大学の頃過疎地域の活性化と男女協同参画社会について学んでいたもので、伊佐市の男女共同参画の今後にも非常に興味があります。よりよい街になりますように！(女性、20～29歳)
- 質問の内容がまず、片よつたものになっているとおもいます。(結婚をしている人・子供がいる人)になりすぎて、回答しながら、あまり良い気分ではありませんでした。私は、子供がいないので、いない人にも、色々と苦しみがあるのに、男女共同参画は、子供がいる人が、主なの、いつも多いのでは？結婚をしていなくても、やはり、苦しみがあると思います。私は、前、職場で、子供がいない事から、夫婦二人で、お金ばかりためて、どうするの？(子供にお金がかからないから)と言われた事があります。心ない事を、平然と言う人がいます。(女性、40～49歳)
- セクハラも相手しだい。(男性、50～59歳)
- “ダイバーシティ”には、異和感を覚える。(女性、60～69歳)
- 鹿児島はむずかしい県だと思います。男女平等なんて…その前に仕事もないし(市内はあるかもですが)鹿児島市以外は過疎化が進む一方で、田舎を出て都会でやれる(精進的に)若い人も帰ってきたくても仕事をする所がないと帰ってこれません。最低賃金や就職先があつて生活できて男女平等も考える事が出来るようになると思います!!(女性、40～49歳)
- 時の流れ、高齢者に意見は無用(要)との考え方が有る限り実現は遠い。高齢者は、経験と知恵袋が有る。お忘れなく!!(男性、70歳以上)
- すべての人々が、自己責任の元、楽しく明るく笑い合える社会で生きられるように希望します。(女性、60～69歳)
- 自治会の対応がすごく悪い。上の人が電話して来た時に酔っ払っていた。次の所は自治会に入るのに皆と審査するといわれ上から目線。よそ者まるだしでいやだった。結婚してないし子供もいないので親も私も自治会に入る気もありません。男女共同の前に人権の教育もされてないと思いました。(女性、40～49歳)

- 役所退職者以外に、たくさん的人格者、リーダーとして動ける人がいるのに、いろんな場面で、役所退職者の方しか、見受けられない。(女性、60～69歳)
- 意識調査のアンケートをいただきましたが、私達夫婦は80代と70代となり、子育ても終わり、年金生活に入っております。子供や孫達も遠方に住み、私達はこれからの人生の終活に向けて、一番考える事は、自分達で出来る限り、自力で生活して行くこと健康管理と体力、筋力キープで未病ですむ様に心がけています。アンケートでは、なかなか、今の自分達には該当するものが少なくて、申し訳ありません。熟年の方が、まだまだ、ワクワクして、学習やおけいこ事のサークルが、もっとあればと思います。(女性、70歳以上)
- 男女共同参画良い事ですが、1つだけたとえば、60kgの米俵を(30kg)でも良いですが、女性が何十個も持てますか。精神面では参画で良いとしても力仕事では、一緒には(身体的)できないと思います。身体の造りからが違うんですからネー、そんな事は、配慮されるんでしょうか。その辺が今一つわからない所です。次の回答書にでも説明して、いただければ幸いです。◎体力的な面では、男女共同参画には、該当しないのでしょうか？いつも、思ってます。(男性、70歳以上)
- 男女共同参画社会の実現を言うのであれば、何事も平等であれば良いのかというと、仕事の内容によっては、どうしても向き不向きということがあり、男性が行った方が、女性が行った方が良いということがあると思うので一概に言えない、柔軟にあっかうべきことだと考える。(男性、50～59歳)
- 都会だから田舎だからと言って行政指導をまたずに、地域(伊佐市)も積極的にやっっていかなければならないと思います。参画の意見には、なりません人口減になる事がわかっているから高校再編を、行動に移らなければならぬと思う。伊佐市の行動は、すべて後手後手になっている様に思います。(男性、70歳以上)
- こんな調査しても、なにも変わらない様に思います。(女性、60～69歳)
- 調査する事も大事だが、調査している事が不平等では無いかと思うが。(男性、60～69歳)
- 表面だけの様な気がしている。(女性、60～69歳)
- 男女間が仲良く生きていける事を望む。(女性、50～59歳)
- 子育てをしながら働いて来た中で男女平等は、ありえない。男性が子供を産めれば、それもあるかも。(女性、60～69歳)

- 男女共同参画社会とは何ですか？（女性、40～49歳）
- 今後、微力ではあるが、男女共同参画実現に向け、いろいろな面で、協力していきたい。（男性、70歳以上）
- 特になし。（女性、50～59歳）